



霧が丘

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kirigaoka/
E-mail:y3kiriga@edu.city.yokohama.jp

横浜市立小中一貫校
霧が丘小中学校（小学校）
平成 27 年度通算第 218 号
平成 27 年 11 月 2 日発行
児童数 662 学級数 22

ラグビーワールドカップ2015で学んだこと

准校長 宇都宮 桂

10月13日から後期が始まりました。10月・11月と気候もよく、多くの学年が校外学習に出掛けています。学年ごとに、学習のねらいにそって参加すると共に、100名前後の学年児童が公共施設の使い方や集団行動の仕方をきちんと守り、上手に行動することができています。また、学年によっては地域の「遊楽社」の方、保護者ボランティアの方にお手伝いをいただきました。ありがとうございました。

さて、先日、朝会で「ラグビーワールドカップ2015で学んだこと」という話をしました。



最初に、動画を使って簡単にルールの説明をし、「ラグビーワールドカップ」は、4年ごとに行われるラグビー世界一を決定する大会で、今回が8回目になること、「夏季オリンピック」「FIFAサッカーワールドカップ」と合わせて、世界3大スポーツ祭典とよばれている等の話をしました。

次に、今までの日本代表の成績を話しました。第1回大会から8大会連続出場しているが、成績は1勝2分21敗。428得点、1159失点。失点が1000点を超えているチームは日本代表だけ…、等の話をしました。世界的な大会であり、日本は出場し続けているものの、よい成績は残せていないことが分かりました。

そして、今大会の日本の4試合の様子を話しました。1試合目に当時、世界3位の南アフリカを破り、スポーツ史上最大の番狂わせと言われたこと。その後、サモアやアメリカにも勝利し、3勝することができたこと。しかし、グループ3位となり、決勝トーナメントには進めなかったこと等を話しました。

今まで、なかなか勝てなかった日本代表が今回3勝することができました。そこで「どうして日本代表が強くなれたのか…？」ということ、日本代表選手やヘッドコーチのコメントから話をしました。

①「歴史を変えられるのは、ボくらだけ」
「日本のラグビーを世界にみとめさせる」
という、つよい思いやねがい…
(キャプテン リーチマイケル選手)



■「やる気」がすごく大切だということ。勉強も運動も同じだね！
「やる気」をもっているいろいろなことに取り組もう。



②「世界一の猛練習」「ジャパン・ウェイ（日本流）に練習した」「準備の勝利だ！」
目標（めあて）に向かってぶれずに、すすんできた。
(ヘッドコーチ エディョーンズ)

■「元気・根気・勇気」がすごく大切だということ。スマイルきりっ子をめざすことと同じだね。
後期のめあては何かかな？

③五郎丸選手は、58点を記録した。でも…
「ラグビーにはヒーローはいないと思う。
このチームは、みんながヒーローです」



■「思いやりの心」をもつことにつながるね。スマイルきりっ子でも「人に役立つことをしよう」という話もしたね！

これらの話は、スマイルきりっ子（やったね！できたね！と達成感や成就感を味わえる子）を育むことにつながると考えました。最後に、「やる気」「勇気」「思いやりの心」等が子ども達に伝わればと思い、日本 vs 南アフリカのノーサイド直前、逆転トライの動画を見て終わりました。

11月に入ります。勉強の秋、運動の秋、校外学習の秋です。子ども達のよりよい成長を願い教職員一同力を合わせて参ります。今後もより一層のご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。